

# 道連ニュース

2026年2月号 No.230

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

2025年度

## 第4回 理事会報告

1月22日(木)ポールスターホテル札幌にて畑理事(生活クラブ)を議長に選出し、開催いたしました。冒頭、中島会長の開会挨拶ののち、以下の事項について提案があり、承認されました。

### 【議決事項】

1. 会費規約一部改定の件
2. 道生協連役員補充選任スケジュールの件（推薦及び役員選考委員会開催等）
3. 2026年度総会議案及び代議員数と総会準備スケジュールの件
4. 2026年度年間スケジュールの件
5. 2026年度業務委託更新の件
6. PC 入れ替えの件

### 【審議事項】

1. 2025年度活動のまとめと26年度活動計画及び予算の件（一次案）
2. 70周年記念事業の件
3. こども食堂北海道ネットワーク・25年度のまとめ
4. ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト・25年度のまとめと26年度活動計画

### 【報告事項】

1. 一般活動報告の件
2. 2025年度第3回理事会
3. 2025年度第3四半期決算報告
4. 2026年度 コープ共済地域ささえあい助成 申請企画の件
5. 熊本県令和7年8月豪雨支援募金の報告
6. 北海道からの通知及び友好団体・協賛・後援の件
7. 会員報告
8. 日本生協連北海道・東北地連報告

理事会終了後、新年拡大役員交流会として、協同組合ネット北海道事務局構成団体・ほっかいどう若者応援学生プロジェクト共同代表にご参加いただき、国際協同組合年の取組の報告やこども食堂支援を通じた学びについて話題提供頂き、2026年度スタートにあたっての意見交換を図りました。

# 誰もが笑顔になれるクリスマス。



～ひとり親家庭へ届けた「食」と「優しさ」の贈り物～

## 概要

2025年12月、札幌市男女共同参画センター（エルプラザ）にて、NPO 法人「ひとり親とこどもふぉーらむ」主催のクリスマスパッケージ配布会が開催され「ほっかいどう若者応援実行委員会の3団体」と、こくみん共済で当日の会場設営、運営支援に入りました。また北海道労金より物資協賛としてアルファ米、ペットボトル飲料の寄贈をいただき、物価高騰の影響が懸念される中、多くの支援者とボランティアの力で、100世帯のひとり親家庭に誰もが笑顔になれるクリスマスを提供する事ができました。

寄贈：こくみん共済  
coop 北海道推進本部



寄贈：北海道生協連



寄贈：北海道労働金庫



寄贈：北海道労福協

主催 ひとり親とこどもふぉーらむ北海道

日時：2025年12月22日(月)16:00～19:00  
※会場設営支援：11:00～

場所：札幌市男女共同参画センター  
運営支援：北海道生協連・北海道労福協・連合北海道  
こくみん共済 coop 北海道推進本部  
物資協賛：北海道労働金庫・NPO 法人リカバリー  
参加対象者：ひとり親世帯100家庭



## 過去最多の申し込み、高まる支援の必要性

今年の配布会は、例年以上の切実な状況から始まりました。クリスマスパッケージには定員を大幅に上回る185名の申し込みがあり、冬休み応援パッケージ（年末に自宅へ配送）に至っては560世帯もの応募が殺到。物価高騰が家計を直撃する中、支援を必要とする世帯が急増している現実が浮き彫りとなったそうです。当初、予算の関係から支援規模の縮小も危ぶまれましたが、NPO 法人リカバリー（大嶋栄子理事長）の呼びかけによりクラウドファンディングを実施。全国225名の支援者から目標を上回る150万円以上の寄付が集まり、今回の開催が実現しました。

## 笑顔が溢れた配布会場

当日は、年末の多忙な時期にもかかわらず20名以上の支援者とボランティアが集結。会場には、色とりどりのオードブル、ホールケーキ、食品、絵本、日用品などが所狭しと並びました。



運営スタッフとして参加した私たちを待っていたのは、親子連れの皆さんの弾けるような笑顔でした。「仕事ばかりの毎日で、久しぶりの娘とのデートです」「大きなケーキにびっくりした」と、受け取りに来られたお母さん・お父さんの安堵の表情が印象的でした。中には、初めて札幌に足を運び、イルミネーションと共にクリスマスの思い出を作られたご家庭もありました。



## 主催者（平井代表）より一言

一日の運営を終え、私たちスタッフの胸にあるのは、支え合いの力の大きさです。物資を寄贈してくださった皆様、クラウドファンディングで背中を押してくださった皆様、そして寒さの中足を運んでくださった親子の皆様。

「メリークリスマス！」という挨拶が飛び交う会場は、支援する側・される側の垣根を超えた優しさに包まれていました。今後もこの支援の輪が途切れることなく、ひとり親世帯の家庭が笑顔で過ごせる社会を目指して、活動を続けてまいります。